



発行

(一社)岩手県労働者福祉協議会
盛岡市大通1丁目1-16 岩手教育会館3F
TEL (019) 654-3082

発行責任者 伊藤 裕一
編集責任者 菅野 健司

No.174 2025年3月31日発行

創立60周年特集号



社団法人設立記念パーティー(2003.6.16)

これからも「福祉はひとつ」



増田寛也岩手県知事との懇談会(2006.6.5)



第43回岩手県勤労者美術展(2024.10.6)



中央労福協では、1981（昭和56）年に労福協運動のイメージをシンボル化して定着させるため全国からマークを公募し、デザイナーとの検討の結果、同年7月にシンボルマークを決定しました。

このマークは『人』という漢字をデザイン化したもので、簡潔で親しみやすが重視され、中の輪は人と人の『和』を表しています。今日では、全国の各都道府県労福協で利用されています。

次なる未来に向かって ともに歩みを進めていこう



一般社団法人岩手県労働者福祉協議会
会長 伊藤裕一

岩手県労働者福祉協議会は、1964年4月に設立され、2024年4月をもって創立60周年を迎えました。この間、ご尽力いただきました諸先輩方、日頃からお世話になっている労働団体、福祉事業団体をはじめ、ご支援ご協力をいただいているすべての皆様に、心からの感謝と御礼を申し上げます。

岩手労福協は、「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります」との理念のもと、労働者福祉事業団体の利用促進にむけた活動をはじめ、ライフサポートセンターによる「くらしのなんでも相談」など、労働者福祉運動の推進、共助の輪の拡大に、加盟団体と連携しながら、地域に寄り添った取り組みを進めてきました。

しかし、私たちを取り巻く状況としては、新型コロナ感染症が5類に引き下げられたものの、これに物価の高騰が続いたこともあり、社会経済活動の回復は遅れ、実質賃金もマイナスで推移してきたほか、貧困や格差は拡大してきています。一方で、昨今の地震・台風など自然災害の頻発で多くの甚大な被害が発生していること、さらには、ロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・パレスチナの紛争をはじめ、世界の平和、あたりまえの日常が脅かされています。

このような状況下ですが、岩手労福協は、この60周年の節目にあたって、創立当時の原点や、時々の情勢に対応してきたこれまでの歩みを思い返しながら、今後も労働者福祉運動を進めてまいります。改めて「福祉はひとつ」の合言葉のもと、貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で安心して働き続けられる持続可能な社会の実現にむけ、取り組みを強化してまいりますので、岩手労福協に対する、なお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

次なる未来に向かって、ともに歩みを進めてまいりましょう。

岩手県労働者福祉協議会の設立

1964（昭和39）年4月8日、労働者の福祉活動を総合的に推進する目的で、岩手県労働組合連合会（県労連）、全労岩手会議（全労会議）及び労働福祉事業団体により、岩手県労働者福協議会（岩手労福）が設立された。

労働者の福祉対策は、企業、国及び地方公共団体がそれぞれ行ってきたが、労働運動の発展とともに、労働金庫、生活協同組合、労働者共済など、労働者自らが福祉活動を行うようになった。そして労働団体も含めて、労働福祉事業を行う団体が多様化、分業化したことから、労働福祉事業を総合的、計画的に推進するため、労働団体及び労働福祉事業団体間の連絡・調整を図る機関の設置が望まれるところとなった。

こうした動きは全国的なもので、すでに三分の二の都道府県で組織されていた。岩手県においても、長い間その必要性が叫ばれていたが、結成準備に時間を要し、ようやくこの年に結成の運びとなった。

岩手労福には、県労連、全労岩手、岩手労働金庫、岩手県労働者共済生活協同組合（県労済生協）、岩手県生活協同組合連合会（県生協連）が参加、運営資金は加盟団体の分担金と県の補助金でまかなうこととし、労働者の福祉増進のための事業を行うこととした。

（岩手県労働運動史 第三巻 岩手県労政課編より）

初代役員

会長	長谷川正治（岩手労金）
副会長	十文字昭三（県労連）
事務局長	齊藤亮二（全労岩手）
幹事	泉又三（県労連）
監査	岩手労連 1名 県生協連 1名 岩手労金 1名 県労連 1名

設立から50年の主な歩み

1964年（昭和39年）	岩手県労働者福祉協議会設立（4/8）
1972年（昭和52年）	労働福祉会館 3/15建設着工、翌年12月竣工
1973年（昭和53年）	第1回働く者の美術展を開催
1987年（昭和62年）	地区労福協強化に向けた助成金制度開始
1989年（平成1年）	連合岩手結成（12月）
1990年（平成2年）	労働団体の再編に伴う労福協運動の構築
1998年（平成10年）	岩手県生協連が脱会
2002年（平成14年）	第1回退職準備サポート研修会を開催
2003年（平成15年）	法人格を取得、4/1から社団法人に
	岩手県学校生協入会
2006年（平成18年）	クレ・サラの金利引き下げを求める署名活動
2008年（平成20年）	割賦販売法改正の署名活動
2011年（平成23年）	3/11 14:46 東日本大震災（M9.0）
	岩手県に義援金を寄贈（2000万円）
2013年（平成25年）	復興チャリティーコンサート（臼澤みさきさん）
2014年（平成26年）	農林会館へ事務所移転（2/24）
	労働福祉会館の解体工事（3/1開始、8月末終了）



第32回通常総会
(1994年6月)
小原武郎会長



第15回岩手県労働者美術展
(1997年8月)
千葉和夫会長(中央)



第40回通常総会
(2002年6月)
安藤勝夫会長

岩手労福のご紹介

岩手労福協は、相互扶助の精神に基づき、岩手県における労働者と一般県民の福祉活動を総合的に推進するとともに、労働団体・労働者福祉事業団体間の調整を行うなど、労働者等の生活の安定並びに社会的地位の向上に寄与することを目的に活動しています。

当法人の正会員は、3つの労働団体並びに5つの福祉事業団体（消費者団体）、12地区の労福協で構成されています。



2024年度（令和6年度）

岩手労福協は、この年の4月8日に創立60周年を迎え、5月28日の定時総会終了後に関係者が集い記念祝賀会を開催した。2024年度事業においては、公益目的支出計画が2023年度事業をもって終了したことから、財政とのバランスを取るため公益目的事業を削減、助け合い・支え合いの支援事業は継続した。レッドカーペット・プロジェクト支援の椿植樹会には、盛岡地区勤労協が協賛、被災地復興支援事業に家族連れを含む総勢48名が参加した。外に目を向けると、本県出身の佐々木朗希選手が大リーグのドジャーズに入団、本県から3人目の大リーガー誕生に県民が歓喜した。年が明けた2月、その佐々木朗希選手の地元大船渡市で大規模な山林火災が発生、甚大な被害をもたらした。

創立60周年記念祝賀会 労働者福祉運動の推進役となって共助の輪の拡大を

創立60周年記念祝賀会は、2024年5月28日（火）、第87回定時総会終了後にホテルニューカリーナで開催しました。祝賀会には、岩手県をはじめ、盛岡市、県経営者協会、盛岡市勤労者福祉サービスセンター、歴代会長と専従役員、正会員など総勢61名が出席しました。

最初に、県労福協を代表して伊藤裕一会長が挨拶。来賓挨拶では、岩手県企画理事兼商工観光労働部長の岩渕伸也様、盛岡市長の内館茂様からご祝辞をいただきました。続いて、第9代会長の斎藤健市さんのご発声で祝杯をあげ祝宴が始まりました。和やかな雰囲気で時間が流れる中、北上市の堀ノ内孝雄さんによる「そっくり歌謡ショー」で会場は盛り上りました。

結びに、県労福協副会長の東北労働金庫岩手県本部金田一文紀本部長による中締めの挨拶で祝賀会はお開きとなりました。県労福協は、諸先輩方が積み上げてきた歴史を大切にしながら、労働者福祉運動の推進役として、これからも正会員皆さんと一緒に共助の輪を広げる取り組みを担っていきます。



県商工観光労働部長
岩渕 伸也 様



盛岡市長
内館 茂 様



斎藤健市
第9代会長



堀ノ内孝雄
そっくり歌謡ショー



主な出来事

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 7月 | 日本銀行、20年ぶりに新紙幣発行 |
| 夏季五輪パリ大会、日本は金・総数ともに過去最高 | |
| 9月 | 大谷翔平、米大リーグ初「50-50」を達成 |
| 石川県能登地方で記録的大雨、死者16名 | |
| 10月 | 被団協がノーベル平和賞を受賞 |
| 1月 | 青森県で記録的大雪、雪下ろし事故で9人死亡 |
| 2月 | 大船渡市で山林火災発生、2900ha焼失 被害甚大 |





5月28日	第87回定時総会 LSC2024年度研修会 「消費者問題」県民生活センター次長 藤原隆博 氏 岩手労福協創立60周年記念祝賀会	9月14日	2024年度退職準備サポート研修会（盛岡、6名）
6月13日	第10回連合岩手・労福協チャリティーゴルフコンペ（29名）	9月27日	花巻地方労「学習会」（講師依頼）
6月29日	R C P 支援、椿の植樹会（48名）	10月4日	第43回岩手県勤労者美術展（6日まで）
7月6日	2024年度労働者自主福祉運動の理念・歴史講座（23名）	10月8日	2024年度岩手県知事との懇談会
7月30日	フードバンク岩手に寄付金贈呈、懇談	11月7日	政策・制度要求と提言、県との意見交換会（連合主催）
9月7日	2024年度退職準備サポート研修会（北上、22名）	11月21日	三団体による労組訪問活動（沿岸地区）
		11月27日	三団体による労組訪問活動（北上地区）
		11月27日	労働者自主福祉運動に関する出前講座（宮古、23名）
		1月6日	連合岩手 2025年新春旗開き（協賛）



役員名簿（2024年5月末）

会長	伊藤 裕一（連合岩手）
副会長	金田一文紀（東北労金岩手本部）
副会長	佐藤 伸一（こくみん共済coop岩手推進本部）
副会長	佐藤 工（平和環境岩手県センター）
副会長	山田 清秋（岩手友愛会）
専務理事	鈴木 圭（連合岩手）
理事	藤岡 英昭（ハピネス共済会）
理事	大坪 勝利（消費者信用生協）
理事	高橋 克典（岩手県学校生協）
理事	佐藤 茂生（連合岩手）
理事	熊谷 孝（連合岩手）
理事	村上智加子（連合岩手）
監事	長谷川博之（東北労金岩手本部）
監事	菅原 繁（こくみん共済coop岩手推進本部）

2014年度（平成26年度）

岩手労福協は2014年4月1日、社団法人から一般社団法人に移行した。定時総会で会長が砂金文昭氏から豊巻浩也氏に交代、新体制で創立50周年の記念祝賀会を催した。岩手県労働者サポート基金協会の解散に伴い、同会の残余財産と保証料補助事業を受諾、自治体提携融資の保証料補助事業を開始した。岩手労働福祉会館の解体工事は、8月末に完了。会館跡地は、三井不動産東北に委託したコインパーキングが9月から稼働開始した。

4月1日	一般社団法人に移行	11月15日	2014年度退職準備サポート研修会（盛岡、64名）
5月1日	第85回岩手県中央メーデー	11月20日	第33回岩手県勤労者美術展（23日まで）
6月20日	第65回定時総会 ※会長交代、豊巻浩也氏が就任 創立50周年記念祝賀会を開催	11月29日	第1回労働者自主福祉運動の理念・歴史講座（128名）
7月29日	会館在り方検討委員会を発足	12月6日	2014年度退職準備サポート研修会（宮古、11名）
8月31日	岩手労働福祉会館の解体工事完了	1月28日	2015年新春交賀会
10月19日	第26回岩手県勤労者野球大会（8チーム）	2月4日	LSC2014年度講演会（児童虐待、佐藤伸一氏） 新会館建設委員会を発足
11月8日	2014年度退職準備サポート研修会（北上、56名）	2月21日	第19回岩手県勤労者ボウリング大会（10チーム）
		3月7日	2014年度ヨガ教室（盛岡、23名）



挨拶する砂金文昭会長



主催者を代表して豊巻浩也新会長が挨拶



第26回野球大会、優勝は永愛友クラブ（北上）



定年後の生活について菅原進氏が講演



第1回理念・歴史講座に128名参加



第33回勤労者美術展に250名来場



第19回勤労者ボウリング大会



L i R i O でヨガ教室開催

主な出来事

4月	消費税率が5%から8%に引上げ 韓国旅客船沈没事故で乗客乗員304人死亡・行方不明
6月	富岡製糸工場が世界文化遺産に登録
8月	広島で土砂災害、住宅流され74人死亡
9月	御嶽山が噴火、登山者ら58名死亡、今も5名行方不明
12月	ノーベル平和賞を17歳マララ・ユスフザイさんが史上最年少で受賞
3月	北陸新幹線が開業



富岡製糸工場



北陸新幹線

役員名簿（2014年6月末）

会長	豊巻 浩也（連合岩手）
副会長	小野寺正志（東北労金岩手県本部）
副会長	来内 広幸（全労済岩手県本部）
副会長	砂金 良昭（平和環境岩手県センター）
副会長	古門 賢一（岩手友愛会）
専務理事	八幡 博文（連合岩手）
理事	佐藤 善浩（東北労金岩手県本部）
理事	上田 高（岩手県民共済会）
理事	横沢 善夫（消費者信用生協）
理事	高橋 克公（岩手県学校生協）
理事	三浦 清（情報労連岩手県協議会）
理事	斎藤 健市（自治労岩手県本部）
理事	千葉 伸行（岩手県東北電力総連）
監事	法領田万寿男（全労済県岩手本部）
監事	柴谷 正孝（運輸労連岩手県連合会）

2015年度（平成27年度）

事務局長が小野務氏から亀田徳夫氏に交代。中央では奨学金問題がクローズアップされ、給付型奨学金制度の導入と教育費負担の軽減を求める署名活動が全国展開された。東日本大震災関係では、岐阜県労福協からの義援金とゴルフコンペのチャリティー募金を釜石市根浜町内会に寄付した。新会館建設委員会は最終答申を11月24日理事会に提出、新会館建設は今後の継続課題となった。2年間担当した北部労福協事務局は、定期総会後に青森県へ引継いだ。

5月30日	第1回連合・労福協チャリティーゴルフコンペ（60名）	11月24日	第5回新会館建設委員会（最終答申）
6月29日	第68回定期総会	11月28日	2015年度退職準備サポート研修会（一関、26名）
	LSC2015年度講演会（メンタルヘルス、産業医 茂木隆氏）	12月28日	第69回臨時総会（理事2名選任）
7月4日	労働者自主福祉運動の理念・歴史講座（北上、27名）	12月17日	第34回岩手県勤労者美術展（20日まで）
7月25日	労働者自主福祉運動の理念・歴史講座（盛岡、43名）	1月27日	2015年度研究集会 基調講演：根浜町内会事務局長 佐々木雄治氏
8月24日	2015年度事業団体事業概況報告会	2月13日	第20回岩手県勤労者ボウリング大会（10チーム）
10月18日	第27回岩手県勤労者野球大会（8チーム）	2月27日	2015年度ヨガ教室（盛岡、19名）
11月19日	2015年度岩手県知事との懇談会	2月29日	連合岩手 奨学金制度問題に関する県要請
11月21日	2015年度退職準備サポート研修会（盛岡、73名）	3月5日	2015年度ヨガ教室（北上、28名）
11月22日	2015年度退職準備サポート研修会（北上、89名）		



理念・歴史講座(盛岡会場)



理念・歴史講座(北上会場)



秋晴れの下で第27回野球大会を開催



退職準備サポート研修会、北上会場に89名が参加



第34回勤労者美術展



2015年研究集会(大震災の教訓)
豊巻会長が主催挨拶



第20回勤労者ボウリング大会



ヨガ教室をアイーナで開催

主な出来事

6月	選挙権年齢引き下げ、来夏の参院選から18歳に
9月	ラグビーW杯で日本が歴史的勝利
10月	マイナンバー制度がスタート
12月	新国立競技場、隈研吾氏デザインで建設へ
1月	日銀、マイナス金利導入
3月	北海道新幹線開業



建設中の国立競技場



北海道新幹線開業

役員名簿（2015年6月末）

会長	豊巻浩也（連合岩手）
副会長	砂金文昭（東北労金岩手県本部）
副会長	来内広幸（全労済岩手県本部）
副会長	砂金良昭（平和環境岩手県センター）
副会長	古門賢一（岩手友愛会）
専務理事	八幡博文（連合岩手）
理事	佐藤善浩（東北労金岩手県本部）
理事	上田 高（岩手県民共済会）
理事	横沢善夫（消費者信用生協）
理事	高橋克公（岩手県学校生協）
理事	斎藤健市（自治労岩手県本部）
理事	千葉伸行（岩手県東北電力総連）
理事	三浦 清（情報労連岩手県協議会）
監事	法領田万寿男（全労済岩手県本部）
監事	柴谷正孝（運輸労連岩手県連合会）

2016年度（平成28年度）

事務局長が亀田徳夫氏から菅野健司氏に交代、菅野氏は5月の定時総会後に専務理事に就いた。12月、豊巻会長の辞任に伴い、斎藤健市氏が会長に就任。この年から連合岩手と合同のチャリティーゴルフコンペを開催、チャリティーとして一人1000円を徴収。隔年開催の文化講演会は、森永卓郎氏を招いて開催、会場はほぼ満席となった。また、保留状態にあった公益目的財産額は、県との話し合いを重ねてようやく決着。当法人の公益目的支出計画は、10年計画に修正された。

5月25日	第70回定時総会 LSC2016年度講演会（奨学金問題、中央労福協 塩原洋光 氏）	11月5日	第4回労働者自主福祉運動の理念・歴史講座（28名）
8月24日	2016年度事業団体事業概況報告会	11月17日	第35回岩手県勤労者美術展（20日まで）
9月3日	第2回連合・労福協チャリティーゴルフコンペ（29名）	12月14日	第71回臨時総会（理事4名選任） ※斎藤健市氏が会長に就任
9月17日	2016年度退職準備サポート研修会（北上、43名）	1月26日	2017年新春交賀会
9月24日	2016年度退職準備サポート研修会（大船渡、11名）	2月4日	第21回岩手県勤労者ボウリング大会（10チーム）
10月1日	2016年度退職準備サポート研修会（盛岡、39名）	2月18日	第13回文化講演会を開催（280名） 「格差社会を生きること」経済ジャーナリスト 森永卓郎 氏
10月14日	2016年度岩手県知事との懇談会	3月4日	2016年度ヨガ教室（盛岡、27名）
10月17日	北部労福協の研究集会が釜石市で開催される	3月18日	2016年度ヨガ教室（北上、25名）
10月23日	第28回岩手県勤労者野球大会（8チーム）		



2016年度知事との懇談会



第35回勤労者美術展・表彰式



北部労福協研究集会を釜石市で開催



2016事務担当者研修会in神戸



第28回野球大会優勝のコクヨクラブチーム



2017年新春祝賀会



第13回文化講演会、
講師の森永卓郎さん



文化講演会の会場はほぼ満席

主な出来事

4月	熊本地震（M6.5、震度7）で死者50人
5月	伊勢志摩サミット開催、オバマ大統領が広島訪問、献花
7月	小池百合子氏が初の女性東京都知事に
8月	天皇陛下、「生前退位」望む
12月	安倍首相が真珠湾訪問
1月	ドナルド・トランプ氏が第45代アメリカ大統領に就任



熊本地震



真珠湾

役員名簿（2016年5月末）

会長	豊巻浩也（連合岩手）
副会長	砂金文昭（東北労金岩手県本部）
副会長	来内広幸（全労済岩手県本部）
副会長	砂金良昭（平和環境岩手県センター）
副会長	石川昌平（岩手友愛会）
専務理事	菅野健司（電機連合岩手地域協議会）
常務理事	八幡博文（連合岩手）
理事	上田 高（岩手県民共済会）
理事	横沢善夫（消費者信用生協）
理事	高橋克公（岩手県学校生協）
理事	斎藤健市（自治労岩手県本部）
理事	鈴木 圭（岩手県東北電力総連）
理事	三浦 清（情報労連岩手県協議会）
監事	菅原芳勝（東北労金岩手県本部）
監事	法領田万寿男（全労済岩手県本部）

2017年度（平成29年度）

全労済県本部（当時）から法領田万寿男氏を9月1日付で出向受入れ、事務局長に就いていただいた。11月、正会員の役員交代に伴い、八幡博文氏が会長に就任した。被災地支援の一環でライフサポートセンター宮古を開設、初めて沿岸地域に相談窓口を設置した。新たな支援先にフードバンク岩手を追加、ゴルフコンペのチャリティー募金を寄付した。隔年開催の研究集会では、日本学生支援機構の奨学金制度の実態と銀行カードローン問題を取り上げた。

5月23日	第72回定時総会 LSC2017年度研修会 (フードバンク岩手、阿部知幸 氏)	9月30日	2017年度退職準備サポート研修会（宮古、15名）
5月27日	第3回連合岩手・労福協 チャリティーゴルフコンペ（30名）	10月2日	ライフサポートセンター宮古を開設、生活相談スタート
7月8日	2017年度ヨガ教室（二戸、23名）	10月6日	2017年度岩手県知事との懇談会
7月22日	2017年度ヨガ教室（盛岡、25名）	10月14日	2017年度退職準備サポート研修会（一関、82名）
8月5日	第5回労働者自主福祉運動の理念・歴史講座（二戸、20名）	11月18日	第73回臨時総会（理事1名、監事1名選任） ※八幡博文氏が会長に就任
8月28日	2017年度事業団体事業概況報告会（出席者22名）	11月23日	2017年度研究集会（奨学金問題、銀行カードローン問題） 第36回岩手県労働者美術展（26日まで）
9月16日	2017年度退職準備サポート研修会（大船渡、16名）	12月20日	フードバンク岩手の支援を開始（寄付金贈呈式）
9月23日	2017年度退職準備サポート研修会（盛岡、67名）	1月24日	2018年新春交賀会
		2月3日	第22回岩手県労働者ボウリング大会（12チーム）



2017年度知事との懇談会



第72回定時総会(斎藤会長)



チャリティーゴルフコンペ



2017理念・歴史講座in二戸



2017退職準備サポート研修会
(一関会場)



2017研究集会



フードバンク岩手に寄付金贈呈
(右が八幡会長)



高野泉アドバイザー慰労会
(右から2人目が高野さん)

主な出来事

4月	浅田真央さん引退表明、5月には宮里藍さんも
6月	天皇生前退位を可能とする特例法が成立 パンダのシャンシャン誕生
7月	九州北部豪雨で死者・行方不明40人超
12月	大谷翔平が大リーグのエンジェルスに入団
2月	平昌五輪で冬季最多13個のメダル、羽生結弦は連覇



パンダのシャンシャン



九州北部豪雨

役員名簿（2017年5月末）

会長	斎藤健市（連合岩手）
副会長	砂金良昭（東北労金岩手県本部）
副会長	来内広幸（全労済岩手県本部）
副会長	野中靖志（平和環境岩手県センター）
副会長	石川昌平（岩手友愛会）
専務理事	菅野健司（電機連合岩手地域協議会）
常務理事	八幡博文（連合岩手）
理事	上田 高（ハピネス共済会）
理事	佐藤浩之（消費者信用生協）
理事	川村 元（岩手県学校生協）
理事	鈴木 圭（岩手県東北電力総連）
理事	佐藤淳一（岩手県教職員組合）
理事	谷藤 学（情報労連岩手県協議会）
監事	菅原芳勝（東北労金岩手県本部）
監事	法領田万寿男（全労済岩手県本部）

2018年度（平成30年度）

5月、新岩手教育会館が落成、連合岩手と一緒に事務所を移転した。退職準備サポート研修会を5地区、ヨガ教室を3地区で開催、県労福協事業の広域展開を試行した。ライフサポート事業「くらしの何でも相談」の認知度を上げるため、県内33市町村を訪問し宣伝。10月には岐阜県労福協が来県、被災地の復興状況を視察していただいた。また、この年から新春交賀会をやめて、連合岩手新春旗開きの協賛団体になった。

5月14日	事務所移転（農林会館→岩手教育会館）	10月5日	2018年度岩手県知事との懇談会
5月23日	第74回定時総会 LSC2018年度研修会（開設10年の歩み、法領田事務局長）	10月17日	岐阜県労福協が来県、被災地の復興状況視察
5月26日	第4回連合岩手・労福協チャリティーゴルフコンペ（57名）	10月21日	第30回岩手県勤労者野球大会（10チーム）
7月4日	LSCいわて自治体へのPR活動（33市町村、12日まで）	11月8日	第37回岩手県勤労者美術展（11日まで）
7月7日	2018年度ヨガ教室（二戸、23名） 7/14盛岡21名、7/21北上20名	1月7日	連合岩手2019年新春旗開き（協賛）
8月4日	第6回労働者自主福祉運動の理念・歴史講座（二戸、16名）	2月2日	第23回岩手県勤労者ボウリング大会（15チーム）
8月25日	連合 西日本豪雨災害支援カンパ街頭募金（協賛）	2月16日	第14回文化講演会を開催（240名） 「紛争地、被災地に生きる子どもたち」 フォトジャーナリスト 安田菜津紀 氏
9月1日	2018年度退職準備サポート研修会（北上、71名） 9/8盛岡35名、9/15—16関45名、9/22大船渡8名、 9/29宮古16名	3月2日	第1回地区代表者・労働団体・事業団体合同会議



2018年度知事との懇談会



西日本豪雨災害支援カンパ活動



2018ヨガ教室（二戸会場）



2018退職準備サポート研修会
(宮古会場)



岐阜県労福協が来県、
復興状況を視察



第30回勤労者野球大会



第37回勤労者美術展



第14回文化講演会
安田菜津紀さん入場シーン

主な出来事

6月	改正民法成立、成人年齢が18歳に引き下げに
7月	西日本豪雨、死者220人超、平成最悪の気象災害
9月	テニス・大阪なおみが全米オープン優勝、四大大会で日本人初 北海道胆振地方で震度7の地震、道内全域停電でブ ラックアウト
10月	築地市場は83年の歴史に幕、豊洲市場が開場 スキージャンプ・小林陵侑が日本男子初のW杯個人 総合優勝



西日本豪雨



築地市場

役員名簿（2018年5月末）

会長	八幡博文（連合岩手）
副会長	砂金良昭（東北労金岩手県本部）
副会長	斎藤健市（全労済岩手県本部）
副会長	野中靖志（平和環境岩手県センター）
副会長	石川昌平（岩手友愛会）
専務理事	菅野健司（電機連合岩手地域協議会）
常務理事	佐藤伸一（連合岩手）
理事	上田 高（ハピネス共済会）
理事	佐藤浩之（消費者信用生協）
理事	川村 元（岩手県学校生協）
理事	鈴木 圭（岩手県東北電力総連）
理事	佐藤淳一（岩手県教職員組合）
理事	谷藤 学（情報労連岩手県協議会）
監事	菅原芳勝（東北労金岩手県本部）
監事	赤坂 徹（全労済岩手県本部）

2019年度（平成31年度・令和元年度）

全国福祉強化キャンペーンの取り組みとして、弁護士を配置した奨学金に関する全国一斉電話相談会を実施した。奨学金返済の相談が2件寄せられた。また、秋田・山形・岩手の3県で、生活相談の事例とその対応、今後の課題等について意見交換を行った。2月には、福祉事業団体の利用拡大、労働団体と地区協議会との連携強化を目的に、初めて地区代表者会議と合同で事業団体事業報告会を開催した。

5月25日	第5回連合岩手・労福協チャリティーゴルフコンペ（36名）	10月3日	労働者自主福祉運動に関する出前講座（北上）
5月27日	第75回定期総会 LSC2019年度研修会 (子ども食堂、インクルいわて 山屋理恵 氏)		* 北上以外に6地区で出前講座を開催
7月6日	2019年度ヨガ教室（盛岡、20名） 7/13北上18名、7/20遠野12名	10月20日	第31回岩手県労働者野球大会（8チーム）
9月9日	北部労福協 盛岡市で理念・歴史講座を開催 *岩手労福協の理念・歴史講座と研究集会を同時開催（30名）	10月25日	秋田・山形・岩手ライフサポート事業に関する情報交換会
9月14日	2019年度退職準備サポート研修会（盛岡、36名） 9/21北上46名、9/28一関13名	11月10日	奨学金に関する全国一斉電話相談（森崎弁護士）
10月1日	2019年度岩手県知事との懇談会	11月22日	岩教組玉山地区「教育を語る会」（奨学金出前講座）
		12月5日	第38回岩手県労働者美術展（8日まで）
		1月6日	連合岩手2020年新春旗開き（協賛）
		2月8日	第24回岩手県労働者ボウリング大会（14チーム）
		2月29日	地区協議会・労働団体・事業団体合同会議（30名）



2019年度知事との懇談会



LSC研修会 講師の山屋理恵さん



北部労福協 理念・歴史講座in盛岡



奨学金に関する全国一斉電話相談会



労働者自主福運動に関する出前講座（一関）



2019退職準備サポート研修会（盛岡会場）



第24回労働者ボウリング大会 始球式



地区代表・労働団体・事業団体 合同会議

主な出来事

4月	2024年に新紙幣、1万円札は渋沢栄一
5月	皇太子徳仁親王殿下が天皇に即位、元号が「令和」に
7月	京都アニメーション放火、36人死亡
9月	ラグビーW杯日本大会、日本快進撃で8強入り
10月	消費税率10%に引き上げ、沖縄・首里城が焼失
3月	新型コロナ感染拡大 東京五輪・パラリンピックが延期に



2024年に新紙幣



新型コロナ

役員名簿（2019年5月末）

会長	八幡博文（連合岩手）
副会長	砂金良昭（東北労金岩手県本部）
副会長	齋藤健市（全労済岩手県本部）
副会長	野中靖志（平和環境岩手県センター）
副会長	石川昌平（岩手友愛会）
専務理事	菅野健司（電機連合岩手地域協議会）
常務理事	佐藤伸一（連合岩手）
理事	上田 高（ハピネス共済会）
理事	佐藤浩之（消費者信用生協）
理事	川村 元（岩手県学校生協）
理事	鈴木 圭（岩手県東北電力総連）
理事	佐藤淳一（岩手県教職員組合）
理事	谷藤 学（情報労連岩手県協議会）
監事	菅原芳勝（東北労金岩手県本部）
監事	赤坂 徹（全労済岩手県本部）

2020年度（令和2年度）

新型コロナウイルス感染症が全世界に拡大、世界保健機関（WHO）は3月11日にパンデミックを表明した。國內においても感染者が急増、医療現場はパニック状態に陥った。密閉・密集・密接の3密を避けることが奨励され、社会・経済活動が停滞、ライフスタイルも一変した。岩手県は、人口10万人あたりの感染者数が15人を超えた8月12日に緊急事態宣言を発出。岩手労福協は5月の総会を書面開催に変更したほか、ほとんどの事業を中止せざるを得なくなった。

5月26日	第77回定期総会（書面開催） LSCいわて第13回定期評議員会
6月8日	第6回連合岩手・労福協チャリティーゴルフコンペ *開催中止
6月20日	2020年度第1回地区代表者会議
8月6日	第1回土地の利活用に関する検討委員会設置
8月29日	2020年度ヨガ教室（盛岡で午前と午後の2回開催） *北上会場は中止
9月5日	2020年度退職準備サポート研修会（盛岡、22名）
9月26日	2020年度退職準備サポート研修会（北上、34名） *同研修会は半日開催に変更して開催



2020年度第1回地区代表者会議



地区代表者会議で挨拶する八幡会長

10月15日	2020年度岩手県知事との懇談会	*開催中止
10月25日	第32回岩手県労働者野球大会	*開催中止
11月6日	奨学生に関する全国一斉電話相談会（森崎弁護士）	
11月12日	第39回岩手県労働者美術展（15日まで）	
11月17日	労働者自主福祉運動に関する出前講座	*開催中止
11月18日	福祉事業団体との意見交換会	*開催中止
12月17日	第78回臨時総会（理事1名専任） ※鈴木圭氏が会長に就任	
2月6日	第25回岩手県労働者ボウリング大会	*開催中止
2月27日	地区協議会・労働団体・事業団体合同会議	*開催中止



2020退職準備サポート研修会
(北上会場)



2020退職準備サポート研修会
(盛岡会場)



2020ヨガ教室(盛岡会場)



奨学生に関する全国一斉電話相談会
テレビ取材の様子



第39回労働者美術展



第39回労働者美術展 表彰式

主な出来事

4月	新型コロナ感染拡大、政府が緊急事態宣言発令
6月	改正道路交通法が成立、「あおり運転罪」創設
7月	レジ袋有料化スタート
8月	安倍首長、持病悪化を理由に辞任表明
10月	スマホ5G時代本格化
2月	新型コロナワクチンの接種開始



レジ袋有料化



接種開始

役員名簿（2020年5月末）

会長	八幡博文（連合岩手）
副会長	砂金良昭（東北労金岩手県本部）
副会長	齋藤健市（こくみん共済coop岩手推進本部）
副会長	伊藤裕一（平和環境岩手県センター）
副会長	吉田信（岩手友愛会）
専務理事	菅野健司（岩手県労働者福祉協議会）
常務理事	佐藤伸一（連合岩手）
理事	佐藤淳一（ハピネス共済会）
理事	佐藤浩之（消費者信用生協）
理事	川村元（岩手県学校生協）
理事	鈴木圭（連合岩手）
理事	谷藤学（連合岩手）
理事	金田一文紀（連合岩手）
監事	菅原芳勝（東北労金岩手県本部）
監事	赤坂徹（こくみん共済coop岩手推進本部）

2021年度（令和3年度）

新型コロナウイルス感染症2年目、ワクチン接種が始まった。5月の総会は細心の注意をはらい対面式で開催した。また、この年の6月に佐々木秀市氏が会長に就任した。3.11大震災から10年が経過、全国研究集会の開催地は福島県だったが、感染を避けるためYouTubeLive配信に変更された。集会では被災3県の復興状況が報告があり、岩手県は陸前高田市が取り上げられた。地元労福協を代表して鈴木会長（当時）のインタビューが全国に放映された。

5月21日	中央労福協がレッドカーペット・プロジェクト取材のため来県	9月4日	2021年度退職準備サポート研修会（盛岡、34名）
5月25日	第79回定時総会	9月11日	2021年度退職準備サポート研修会（北上、39名）
	LSC2021年度研修会（ヘラルボニー副社長 松田文登 氏）	10月1日	レッドカーペット・プロジェクトに支援金を贈る（10/8植樹）
6月2日	第7回連合岩手・労福協チャリティーゴルフコンペ（33名）	10月24日	第33回岩手県勤労者野球大会（4チーム）
6月29日	第80回臨時総会（理事1名専任）	11月11日	奨学金に関する全国一斉電話相談（森崎弁護士）
	※佐々木秀市が会長に就任	11月11日	第40回岩手県勤労者美術展（14日まで）
7月8日	北部労福協が釜石市で幹事会開催、復興状況視察	11月30日	政策制度要請（連合岩手と共同）
7月10日	2021年度ヨガ教室（盛岡、14名） *北上会場は中止	12月16日	第81回臨時総会（理事1名解任、理事2名専任）
8月25日	第1回事業及び財政に関するあり方検討委員会（発足）	2月5日	第25回岩手県勤労者ボウリング大会（4チーム）
	第1回LSCいわて運営委員会（発足）	3月15日	県議会に自転車条例制定に関する請願書を提出



中央労福協が陸前高田市を取材・椿植樹



第7回チャリティーゴルフコンペ



フードバンク岩手に寄付金贈呈
(左が佐々木会長)



レッドカーペット・プロジェクト
支援開始・椿を植樹



奨学金に関する電話相談会
(森崎弁護士)



第40回勤労者美術展・表彰式



政策制度の要請書を佐々木会長
(右)から達増知事へ手交



自転車条例制定の請願書を県議会に提出(中央が五日市議長)

主な出来事

- 4月 ゴルフの松山英樹がマスターズ優勝、日本男子初
- 7月 静岡・熱海で土石流、死者・行方不明27人
- 東京五輪は原則無観客で開催
- 9月 横綱白鵬が引退
- 2月 冬季五輪北京大会
- ロシアがウクライナに侵攻

労福協マスコットキャラクター“きょうちゃん”誕生



キャラクターの制作にあたっては2021年4月に公募を呼びかけ、全国116名の方から134作品のご応募を頂いた。その後、厳正な審査や投票などを経て、福岡県在住の江崎 芙美さんのキャラクター原案“きょうちゃん”の採用が決定。プロによるブラッシュアップなどを行ったのち、2021年11月26日に開催の中央労福協第65回定期総会で誕生した。

役員名簿（2021年5月末）

会長	鈴木 圭（連合岩手）
副会長	八幡博文（東北労金岩手県本部）
副会長	齋藤健市（こくみん共済coop岩手推進本部）
副会長	伊藤裕一（平和環境岩手県センター）
副会長	吉田 信（岩手友愛会）
専務理事	菅野健司（岩手県労働者福祉協議会）
常務理事	佐藤伸一（連合岩手）
理事	佐藤淳一（ハピネス共済会）
理事	佐藤浩之（消費者信用生協）
理事	川村 元（岩手県学校生協）
理事	佐藤茂生（連合岩手）
理事	谷藤 学（連合岩手）
理事	金田一文紀（連合岩手）
監事	長谷川博之（東北労金岩手県本部）
監事	赤坂 徹（こくみん共済coop岩手推進本部）

2022年度（令和4年度）

新型コロナウイルス感染症3年目、国民へのワクチン接種が進み、人の往来が戻ってきた。岩手労福協は、新型コロナ感染状況を注視しながら事業の開催を判断。この年はほとんどの事業を実施することができた。昨年中止した天達武史氏の文化講演会も開催、研究集会では中央労福協顧問の関口税理士を講師にお迎えし、相続と贈与、組合会計をテーマに開催した。コロナで遅れが生じた公益目的支出計画は、県に1年間の計画延長を申請して認可された。

5月26日	第82回定時総会 LSCいわて2022年度研修会 (レッドカーペット・プロジェクト代表理事 高橋和良 氏)
6月17日	第8回連合岩手・労福協チャリティーゴルフコンペ（32名）
7月2日	2022年度ヨガ教室（盛岡15名）、7/9（北上15名）
7月16日	第15回文化講演を開催（130名） 「天達が見た 異常気象と災害対策」気象予報士 天達武史 氏
8月27日	2022年度労働者自主福祉運動の理念・歴史講座（24名）
9月3日	2021年度退職準備サポート研修会（盛岡、34名）
9月10日	2021年度退職準備サポート研修会（北上、43名）
10月4日	2022年度岩手県知事との懇談会



2022年度知事との懇談会



第15回文化講演会
講師の天達武史さん

10月11日	北部労福協研究集会が盛岡市で開催される
10月15日	2022年度研究集会（相続と贈与ほか、税理士 関口邦興 氏）
10月23日	第34回岩手県勤労者野球大会（5チーム）
11月4日	奨学金に関する電話相談会（森崎弁護士）
11月5日	R C P 支援 植の植樹会（42名）
11月25日	第41回岩手県勤労者美術展（27日まで）
2月4日	第26回岩手県勤労者ボウリング大会（9チーム）
2月18日	第16回文化講演会を開催（209名） 「感性コミュニケーション～男女脳差理解による組織力アップ講座」 人工知能研究者・感性アナリスト 黒川伊保子 氏



理念歴史講座、高橋均先生



北部労福協研究集会in盛岡



2022退職準備サポート研修会
(盛岡会場)



2022研究集会、講師の関口税理士



レッドカーペット・プロジェクト
支援・椿植樹会



第16回文化講演会
講師の黒川伊保子さん

主な出来事

4月	改正民法が施行、成人年齢18歳に
5月	知床観光船沈没事故
7月	安倍元首相が撃たれ死亡、9月に国葬
8月	夏の甲子園で仙台育英優勝、東北勢初
10月	鉄道開業150年
2月	闇バイト強盗、指示役「ルフィ」ら逮捕



甲子園



成人年齢18歳に

役員名簿（2022年5月末）

会長	佐々木秀市（連合岩手）
副会長	八幡博文（東北労金岩手県本部）
副会長	佐藤伸一（こくみん共済coop岩手推進本部）
副会長	金田一文紀（平和環境岩手県センター）
副会長	吉田 信（岩手友愛会）
専務理事	菅野健司（岩手県労働者福祉協議会）
常務理事	鈴木 圭（連合岩手）
理事	佐藤淳一（ハピネス共済会）
理事	佐藤浩之（消費者信用生協）
理事	佐藤 工（岩手県学校生協）
理事	伊藤裕一（連合岩手）
理事	佐藤茂生（連合岩手）
理事	藤本 誠（連合岩手）
監事	長谷川博之（東北労金岩手県本部）
監事	赤坂 徹（こくみん共済coop岩手推進本部）

2023年度（令和5年度）

新型コロナウイルス感染症は、5月に感染症法上の分類が5類に引き下げられた。岩手労福協の活動はコロナ前の状態に戻り、達増知事との懇談会も3年ぶりに開催することができた。2021年に設置した事業及び財政に関するあり方検討委員会は、この年の11月に協議結果を取りまとめ、12月の理事会に最終報告書を提出した。財政が縮小する中、公益目的支出計画終了後の事業と財政に関する見解を理事会に報告した。

5月25日	第84回定時総会 LSCいわて2023年度研修会 「労福協2030年ビジョン」中央労福協事務局長 南部美智代 氏	9月30日	2023年度退職準備サポート研修会（北上、40名）
5月30日	第9回連合岩手・労福協チャリティーゴルフコンペ（43名）	10月2日	2023年度岩手県知事との懇談会
6月17日	R C P 支援、椿の植樹会（33名）	10月3日	第42回岩手県勤労者美術展（6日まで）
6月27日	フードバンク岩手と今後の支援について懇談会	11月11日	2023年度労働者自主福祉運動の理念・歴史講座（34名）
7月8日	2023年度ヨガ教室（盛岡、15名）	11月27日	第132回理事会にて伊藤裕一氏を新会長に選定
7月22日	2023年度ヨガ教室（北上、16名）	12月5日	第10回事業及び財政に関するあり方検討委員会（最終報告）
9月5日	第85回臨時総会（理事1名選任）	12月15日	第86回臨時総会（理事1名専任）
9月23日	2023年度退職準備サポート研修会（盛岡、26名）	1月6日	連合岩手 2024年新春旗開き（協賛）
		2月3日	第27回岩手県勤労者ボウリング大会（12チーム）
		2月20日	くらしネットみやこ相談室と懇談会開催



2023年度知事との懇談会



第84回定時総会



第9回チャリティーゴルフコンペ
表彰式



レッドカーペット・プロジェクト
支援・椿の植樹会



2023ヨガ教室(北上会場)



2023労働者自主福祉運動に関する
理念・歴史講座



第42回勤労者美術展・表彰式
佐々木会長



第27回勤労者ボウリング大会

主な出来事

5月	新型コロナが「5類」へ移行
6月	ネットで脅迫、ガーシー前参院議員逮捕
8月	福島第一原発の処理水放出開始
9月	記録的猛暑、夏の平均気温過去最高 ジャニーズ事務所、性加害認め謝罪
10月	将棋の藤井聟太竜王が史上初の八冠
11月	各地でクマ被害、死傷者過去最高
1月	石川・能登で震度7、津波被害



記録的猛暑



能登で震度7

役員名簿（2023年5月末）

会長	佐々木秀市（連合岩手）
副会長	金田一文紀（東北労金岩手県本部）
副会長	佐藤伸一（こくみん共済coop岩手推進本部）
副会長	佐藤工（平和環境岩手県センター）
副会長	山田清秋（岩手友愛会）
専務理事	菅野健司（岩手県労働者福祉協議会）
常務理事	鈴木圭（連合岩手）
理事	佐藤淳一（ハピネス共済会）
理事	佐藤浩之（消費者信用生協）
理事	欠員（岩手県学校生協）
理事	伊藤裕一（連合岩手）
理事	佐藤茂生（連合岩手）
理事	藤本誠（連合岩手）
監事	長谷川博之（東北労金岩手県本部）
監事	赤坂徹（こくみん共済coop岩手推進本部）

組織の枠を超えて全労働者の視点に立つ

“福祉はひとつ”で始まった労福協

中央労福協は、1949年8月30日、「労務者用物資対策中央連絡協議会」（中央物体協）として発足しました。

戦後直後の食料危機と生活物資の不足が深刻化する中、労働組合や購買生協などが共同して、各地で隠匿物資の摘発や適正な配給、生活必需品の民主的管理、労務加配米の増配、作業衣服の確保、木炭の払い下げなどを要求する切実な運動を展開していました。

こうした状況の中から、生活物資の確保をめざした運動を全国的に結集して共同行動の機関をつくろうという気運が高まり、分立していた労働団体（総同盟、産別会議、全労連）、各産別組織、日本協同組合同盟（後の日本生協連）など36団体が集まって結成したのが中央物対協です。

中央物体協としての活動期間は1年ですが、その中で「この協議会を単産および単産の上部組織の枠を超えたものとし、各単産の福祉対策活動を連絡調整しあって意思統一をはかるとともに、互助共済機能の活発化による福祉の増進、社会保障制度の確立、労働者の生活福祉問題解決のための政治的結集をはかる組織とする」という歴史的な合意をしました。

中央労福協は結成当初から、イデオロギーや考え方の違い、組織の枠を超え、福祉の充実と生活向上をめざすという一点で統一し結集をはかることを明確な指針としてきました。この創業の精神は、現在でも「福祉はひとつ」として継承され、中央労福協の原点となっています。

労働者のための銀行を

～高利貸からの解放を求めて

労働金庫は、労働金庫法制定以前の1950年に、生活協同組合の主導により岡山県で、労働運動を主体として兵庫県で、勤労者信用組合として誕生しました。

労働運動における始まりは、1949年11月の総同盟第4回大会で、相互扶助の精神に立脚した自主的な共済事業と労働銀行の設立が決議されたことです。1950年7月の総評結成大会では「スト資金積立て罷業金庫・中央労働金庫設立」の方針が掲げられ、1951年の総評第2回大会では「労働銀行設立」を独立した議案として決議しました。

中央福対協では、こうした運動を推進するための協議の場をつくり、労働金庫設立の気運をさらに高め、1953年の労働金庫法制定につながりました。そして、質屋と高利貸からの解放をめざした「労働者の労働者による労働者のための銀行」として労働金庫が全国に誕生することとなりました。

●あとがき

創立60年の節目にあたり、岩手労福協の設立を振り返るとともに過去10年間の活動を紹介する特集を組みました。岩手労福協は設立から60年が経過した今も、その目的は「労働者福祉の推進と生活の安定」に変わりはなく、諸先輩が築いたこの運動は、労働運動とともに継承していかなければなりません。これからも「福祉はひとつ」を合言葉に、労福協の理念実現、社会的課題解決に向けて、多くの皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

労働者の手で共済

～設立直後の大火に対応し信頼を得る

労働者共済事業は、1951年11月の中央福対協第3回総会で、互助共済事業を高めるため「共済事業活動の具体化」が決議されました。この決議にもとづいて1953年に「全国共済団体連絡会議」が設置されました。

全国的に労働者共済の機運が高まる中で、1954年に大阪で、翌年には新潟で先駆的に火災共済事業を開始しました。

新潟では、発足後わずか5か月で当時戦後最大と言われた新潟大火が発生。共済事業の財政基盤が十分整っていなかったにもかかわらず、「共済は信用が第一」の信念のもと労働組合の協力で、所定の共済金支払いを迅速に行なったことが共助としての労働者共済事業の社会的評価を大きく高めることになり、各県の共済事業が本格化していきました。今日のこくみん共済coop〈全労済〉誕生の契機です。

借金はいつかは返せる。

失った信頼は永久に取り戻せない

(K.S)